

Title	未来共創 8号 目次
Author(s)	
Citation	未来共創. 2021, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83892
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University



目次

発刊にあたって 渥美公秀 001
•
論文
米国に住む「日本人ゲイ」により語られる物語/語りに関する研究 一どのように自身の性的マイノリティ性と人種・民族的マイノリティ性について物語るのか 富安皓行 003
性暴力被害とトラウマを再考する 一新自由主義とポストフェミニズムの観点から 井上 瞳 031
•
特集 レジリエンス
特集にあたって―コロナ時代に考える「レジリエンス」 木村友美、織田和明064
人間のレジリエンスとナラティヴ 日高直保 069
人類進化におけるレジリエンス 中野良彦085
レジリエンスについて災害研究を通して考える 渥美公秀 109
医療とレジリエンス 小笠原理恵、モハーチ・ゲルゲイ 123
•
フォーラム「共生/共創の多角的検討」
共生/共創の多角的検討―1 違和感とフラストレーションを起点とした協同的オートエスノグラフィー 片田真之輔、大川ヘナン、なかだこうじえんりけ 145 共生/共創の多角的検討―2 「共同翻訳」から始まる共生/共創―上辺だけではない議論と実践のために 桂悠介、佐々木美和、八木景之 177

研究ノート

介護予防・日常生活支援総合事業における利用者の活動と社会資源 一地域のなかの通所型サービスを事例として 寺村 晃 209
私立大学Aにおける留学生の防災力に関する研究 一日本人学生と比較して 高 誉文 233
パレスチを巡る占領政策の一考察 一集団的懲罰としての連座刑の視点から 島本奈央 253
•
報告
未来共生プログラム コミュニティ・ラーニング2020報告 あの日から10年、野田村の想い 一改めて考える岩手野田村でのフィールドワーク 石塚裕子、渥美公秀275
コロナ時代に考える多文化共生—まなびのカフェのイベントを通じて 小笠原理恵、木村友美、坂口ピーター、ゼア・ローズ、 クラウディア・エリウス・オセゲダ・フィゲロア292
G30プログラムと共創の場を目指すために 中野良彦308
マイノリティ教育ラボ 活動報告 コロナ禍における学生のボランティア活動 秋山みき、砂原なごみ、田岡里彩、中西美裕、井上温子318
•
書評
平野晋『ロボット法―AIとヒトの共生にむけて』 池田健人 330
Asad Haider, <i>Mistaken Identity: Race and Class in the Age of Trump</i> 安藤 歴334
東畑開人『居るのはつらいよ―ケアとセラピーについての覚書』 富安皓行 338
•
エッセイ
"環境先進国"の見えない代償 岩根あずさ 342
がんとの共生 石蔵文信 346
死に方との共生 山中浩司350
「共生のジャーナリズム」考 脇阪紀行 354
•
編集後記 木村友美359